

2023年 6月 11日 《 聖 餐 式 》

主 日 礼 拝

司 会 ②白川 達男兄

奏 楽

祈 禱 ②石井 秀人兄

賛 美 聖歌570番 ~わたしたちは知ろう~

パウロの祈り②

聖書朗読 使徒行伝12章1~11節

特別賛美 大和カルバリー聖歌隊（2000年泉チャペル献堂式）

メッセージ 「教会では熱心な祈りが神に捧げられた」

石井 潤 牧師

聖 餐 式 賛美「イエスの十字架の血で」

献 金 聖歌229番 ~アメイジング・グレイス~

祝 禱

お知らせ 〔司会者〕

賛 美 賛美 「喜びがある」

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！☆
《今週のお知らせ》

★本日の礼拝では聖餐式が行われます。主の十字架とご復活の御業を覚えます！

☆今週の祈り会：○早天祈禱会、明朝6時。 ◎木曜祈禱会：①午前10時半

（大和祈禱会ライブ映像）。②夜7時半。 ○準備祈禱会：土曜夜8時。

★来週の日曜日は「父の日」の礼拝です。（司会：白川達男兄/祈禱：石井洋子姉）

◎7月17日（月・祝）のゴスペルコンサートのチラシをお用いください！！

☆一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [6/11-18]

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書箇所	歴代志下 7-9	10-12	13-16	17-20	21-23	24-27	28-29	30-32
チェック	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇〇	〇〇	〇〇〇

「教会では熱心な祈りが神に捧げられた」

～決してあきらめずに、祈りつづける心～

かれら^{かれ}はみな、婦人^{ふじん}たち、特にイエスの母^{はは}マリヤ、およびイエスの兄弟^{きょうだい}たちと共に、
心^{こころ}を合^あわせて、ひたすら祈^{いのり}をしていた。」使徒行伝1章14節

「倦まず撓まず」（うまずたゆまず）という言葉がありますが、これは、“いやになったり、なまけたりしない。飽きたり、あきらめたりしない”というような意味のことばです。昨年までの、コロナとの闘いは人間にあきらめる心を助長させた時期でもありました。多くの自殺者も起こりましたし、この世の終わりかと感じた人も多かったように思います。しかし、どんなことがあっても決してあきらめない心があるなら、それに向かってひたすらに立ち向かい、努力していくなら、必ず明るい未来が待っていると信じています。

使徒行伝時代の使徒たちは、行き詰まりに対して、立ち向かうためのエネルギーをどこから得ていたのでしょうか？それは「祈り」からでした。何もできない時、不可能と思える事柄に立ち向かわなければならない時、私たちには大きな扉が開かれます。それが祈りの扉です。

北朝鮮で949日（2年7ヵ月と9日—2017年8月9日釈放）、終身刑という刑を受けた、韓国系カナダ人の牧師であるイム・ヒونس師は後に、手記「だれを私は恐れよう」（いのちのことば社）の中で、祈りこそ力であったと語りました。囚人として北朝鮮に捕らえられていた時は、ただただ、主しかいなかったとのこと。奥様はカナダにおられましたが、韓国に移られて、そこで熱心にとりなしの祈りを続けました。奥様は祈りの中で、主ははっきりと「あなたの夫は、わたしが北朝鮮に送った」と語られたそうです。そして、カナダの母教会から祈りの課題を送って欲しいと頼まれて、祈りの中で、その内容を送りました。その内容は、「①闇の地ですが、光の役割をするように、②神だけを仰ぎつつ、感謝する時間となるように、③神の御心がもっと先生に与えられるように、④その地のたましいを抱き、命をかけて涙で祈る先生になるように、⑤姿かたちを変えた祝福をよく果たしきるように、⑥最後まで神の栄光だけが現されるように、⑦孤独を感じず、最後までよく耐えるように。」でした。「早く釈放されるように」とか「元気で早く解放されるように」という祈りではなかったのです。奥様も最初はそうに祈っていたとは思いますが、祈っている間に、主がその地に先生を送られたこと、そして、それには大きな目的があったことを悟ったからです。北朝鮮の人々を愛して、どうか助けたいと願って生涯をかけて北朝鮮にいる人々の支援をし続けたヒونس牧師でしたが、彼らは国家転覆罪などの罪を着せて死刑（後に終身刑に減刑）に処したのです。しかし、それはキリスト者たちの熱い祈りによって、神の手が動いて、神の時に、神の方法で釈放されるということが起こったのです。「決してあきらめない心」が祈りという形であらわれるのです。熱心に祈り続けましょう！